

船舶事故等調査報告書

平成26年5月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013広第72号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成25年4月18日 17時20分ごろ
発生場所	香川県小豆島北東岸 香川県小豆島町所在の福田港北1号防波堤灯台から真方位141°1,460m付近 (概位 北緯34°32.0′ 東経134°21.5′)
事故等調査の経過	平成25年5月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 第十共栄丸 ^{きょうえい} 、497トン
船舶番号、船舶所有者等	136471、櫻田石材株式会社
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	ビルジキールに曲損
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、船首約2.20m、船尾約5.00mの喫水により、小豆島北東岸の採石場で錨泊して積荷役中、北西の風浪に圧流されて船尾が振れ、平成25年4月18日17時20分ごろビルジキールが捨て石に接触した。 本船は、船体各部を点検したが、異常はなかったので、荷役を続行した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2 海象：潮汐 下げ潮の初期、潮高 約102cm
その他の事項	船長は、本事故発生場所における荷役作業等の経験は豊富であった。 本船は、本事故当時、船首及び船尾から錨を投入しており、船首から錨鎖を約90m伸出して重量約1,610kgのストックレスアンカーを、船尾からアンカーロープを約300m伸出して重量約560kgのストックアンカーをそれぞれ投入していた。 船長は、本事故発生場所付近の底質は砂なので、錨かきが悪いと感じていた。 船長は、本事故当時、波が強いと感じていた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり

判明した事項の解析	本船は、小豆島北東岸の採石場で錨泊して積荷役中、風浪に圧流されて船尾が振れたことから、ビルジキールが捨て石に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、小豆島北東岸の採石場で錨泊して積荷役中、風浪に圧流されて船尾が振れたため、ビルジキールが捨て石に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。